

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		パン&カフェ こすもす			第三者評価受審年度	2024年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (2024年度)	改善計画 (2024年度末時点)	実施状況 (2025年度末時点)	実施状況 (2026年度末時点)		
サービス情報の提供について	ホームページやパンフレットなどで事業所の情報を提供している。ホームページには「Cafeこすもす」が目指すことや作業内容を載せ、事業所理解をすすめている。また、貸借対照表・損益計算書・内訳書なども載せており、事業実態についても公表している。以前はSNSを使って、積極的に情報提供していたが、訪問調査時点では更新されていなかった。今後は、SNSなどを使って、利用希望者や関係者に当事業所の取り組みをさらに伝えていくことを期待する。	ホームページでも事業所のコンセプトと仕事の内容をスライドで紹介しているが、更新が滞っている部分もあったため、12月末にリニューアルを実施。今回のリニューアルでは、見やすく分かりやすくなるように構成やデザインを全面的に刷新。今後は必要に応じて情報更新を行う。				
人材育成について	利用者定員20名で、常勤職員3名、非常勤職員16名（常勤換算4人）の小規模な事業所である。そのため、日々の朝礼や随時の口頭での情報交換により、円滑に業務がすすめられている。また、職員会議での意見交換で支援の統一性を図っている。職員アンケートでは、「オンラインで研修を受けることができ、自分の好きな時間に受けることができる」などのコメントが寄せられた。職員の支援力向上に向けた計画的な人材育成のさらなる充実を期待する。	現段階では、カンファレンスや事例検討会など、利用者個々の支援について深める機会を設けている。そのうえで、個人別の研修は、支援力向上と問題解決策の提案できるスキルを身につけるため外部研修の利用を実施。一方的な研修にならないように職員本人の動機形成を促す仕組みを検討する。				
事業所のリスクマネジメントについて	「危機管理マニュアル」「災害時障がい者サポートマニュアル」「異常事態・事故発生時対応マニュアル」を作成し、リスクに対して迅速に対応できるようにしている。他方、これまで利用者を救急搬送するような事例は起きていない。しかし、あらゆるリスクを想定し、消防署が実施している救命講習に参加し、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使い方、気道異物除去や止血法などの応急手当などについて学ぶ機会を設けることも期待する。	年1回、防災訓練を実施している。消防署が実施している救命講習に参加し、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使い方、気道異物除去や止血法などの応急手当などについて学ぶ機会を設ける。				

※この様式は、「八王子市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。